

【 総合防災メーカーの入門書 】

ハツタノ トリセツ

HATSUTA NO

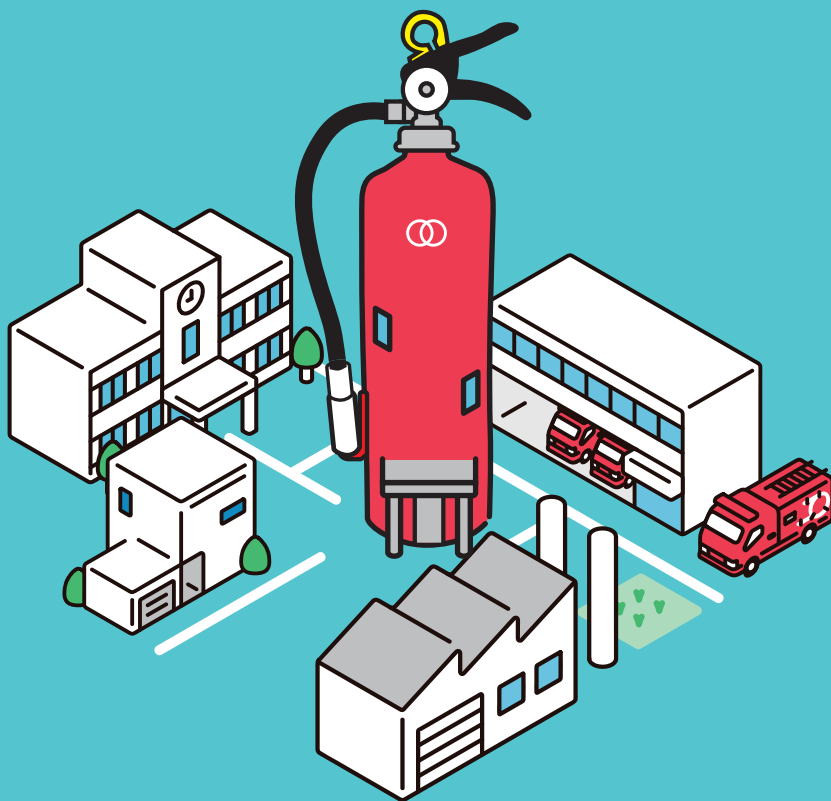
TORISETSU



防火・防災のプロになる

HATSUTA

120年間、人命を、文化を、財産を守り続けてきた
初田製作所ってなんの会社？



私たちは防火や防災のプロフェッショナルです。

さまざまな消火器の開発・製造・販売で着実に成長を続け、今では消火システムや消火設備、防火に関するコンサルティング、消火栓、消防ホースなど、防火や防災に関する幅広い事業を国内外で展開しています。

沿革	1902年	'47年	'61年	'65年	'82年	'89年	'02年	'03年	'05年	'06年	'11年	'14年	'21年	'23年
	初田利兵衛が京都市に 二重瓶消火器株式会社を創立	初田工業株式会社から分離独立し、 株式会社初田製作所設立	消火設備の製造販売開始 (総合防災メーカーとしてのスタート)	シームレックス製法の国内特許取得	CABINE X (小型自動消火システム)開発	ステンレス消火器開発	国際標準化機構 ISO14001取得	業界初のエコマーク認定消火器 ECOSSシリーズ発売	初田(寧波)消防器材有限公司設立 中国浙江省に	環境大臣より廃消火器処理の広域認定取得(業界初) 日本郵政と連携し、リサイクル事業を本格化	カーボンフットプリントマーク付消火器発売(業界初) タイ・バンコクに株式会社サイアムハツタ設立	火災リスク簡易診断サービス「HTCサービス」を開始 ハローキティ住宅用消火器を発売 透明樹脂製蓄圧式消火器(世界初)CALMIEを発売	株式会社ハツタテクノ統合	株式会社横井製作所統合
														
	大正時代の大阪本社							ステンレス消火器						

【 主な事業紹介 】

OUR BUSINESS

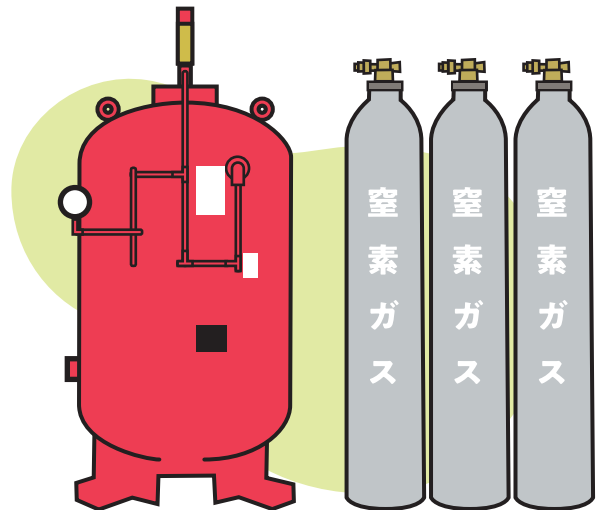


防災事業

初田製作所は防災事業を基盤とし、創業当初に考案された「二重瓶消火器」を起点に、後継の消火器や簡易パッケージ型消火システム、ユニバーサルデザインを取り入れた防災機器を開発しています。これにより様々なケースに対応する事業を展開しています。また、HTCサービスを基にリスク診断を行い、BCP(事業継続計画)を考慮した安全な社会環境を提案しています。

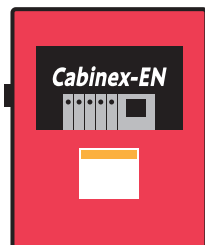
消火設備事業

初田製作所は、消防設備の機器製造から施工までを手掛け、建築物やプラント物件に対して消防法に準拠した最適な消防設備を提供しています。最近では、介護施設向けのコンパクトで安全なパッケージ自動消防設備も提案しています。



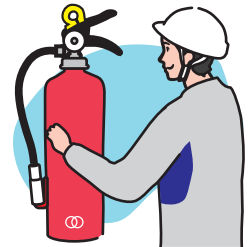
ファイヤープリベンションシステム事業

FPS商品は、企業のBCPに貢献し、産業機械の火災防止と損失低減、システム設計・施工、アフターサービスを提供します。



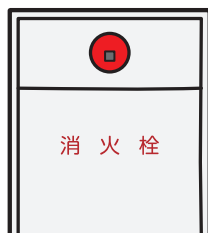
メンテナンス事業

消防法に基づく点検で機器を最適な状態に保ち、専門知識を活かしたメンテナンスと、安全対策を提案します。



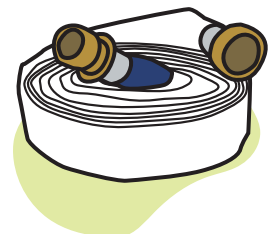
消火栓事業

屋内消火栓格納箱を製造・販売。オーダーメイド対応やデザイン性の高い消火栓、施工性向上製品を提案しています。



消防用ホース事業

消防用ホース事業では、高強度のカラーホースを提供。研修やトレーニングを通じて消防関係機関の知識向上も支援しています。



知って驚く! 防災の豆知識

ハツタの防災トリビア7選!

防災のプロ、初田製作所が日常で役立つ

防災知識や火災リスクを減らす「防災のトリビア」をご紹介します。

これらの知識を身につけて、社会に貢献する防災のプロフェッショナルを目指しましょう!

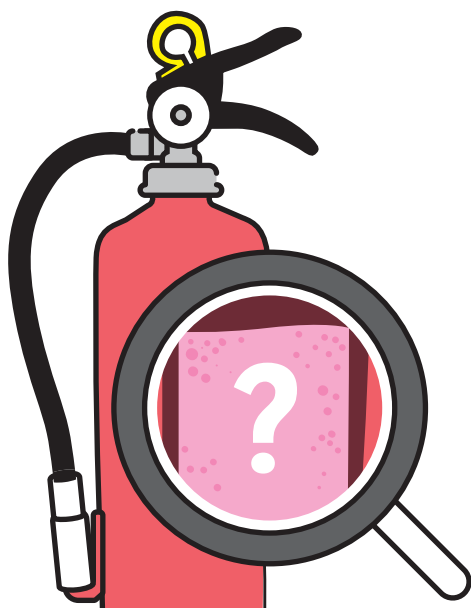
01

消火器の 中身は ピンクの粉?

消火器の中には90%以上の割合でピンクの粉(リン酸アンモニウム)が入っています。

ハツタのポイント

初田製作所は消火器市場で国内シェア25%を誇り、幅広い消火器製品を製造・提供しています。



03

住警器に 袋を被せる 理由

燻煙式殺虫剤などを焚くとき、住警器(火災報知機)に袋を被せる理由は、煙検知で誤作動を起こさないため。

ハツタのポイント

初田製作所では、誤作動を防ぐための防災システムの適切な設置やアドバイスを行っています。

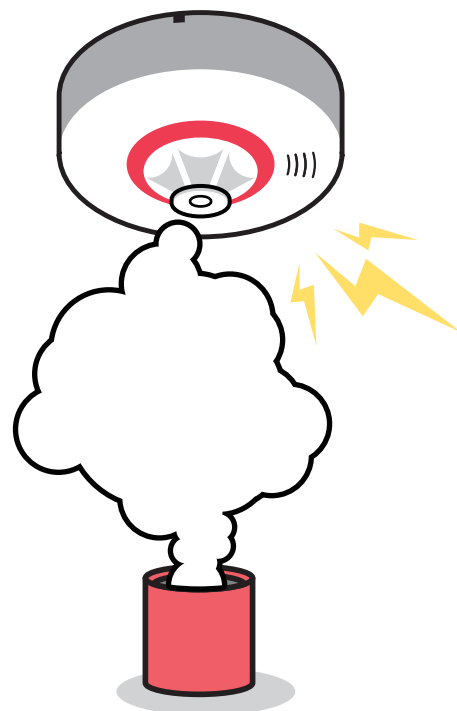
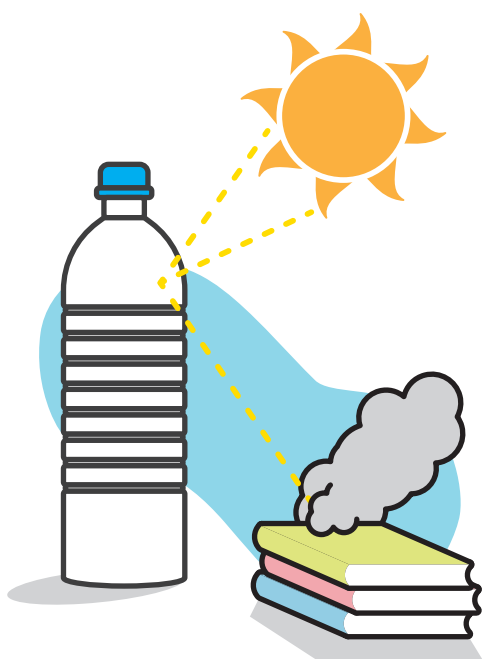
02

自然発火の 意外な原因

油を含んだウエスや放置されたタイヤ、窓ガラスによる取れん火災など、意外なものが自然発火の原因になります。

ハツタのポイント

初田製作所は、火災リスクを減少させるため、さまざまな業界に向けた防火・防災システムを提供し、予防策を提案しています。



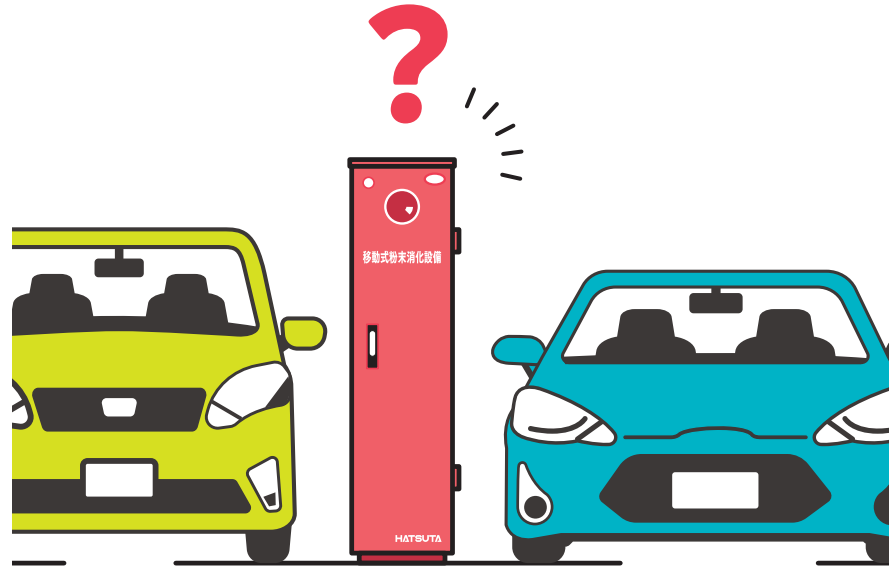
04

駐車場の赤い箱の中身は？

駐車場にある赤い箱には、なんと33キロもの粉末消火剤が入っています。

ハツタのポイント

初田製作所は、消火器だけでなく多様な自動消火システムや粉末消火剤の開発にも注力しており、公共スペースや施設の安全を守っています。



05

スプリンクラーの水量は驚きの量！

スプリンクラーの一般的な放水量は1分間で80リットル。大規模施設では350リットルも放水されます。

ハツタのポイント

初田製作所は、特殊自動消火システムの国内シェア80%を占める企業であり、こうした高性能の自動消火システムを提供しています。

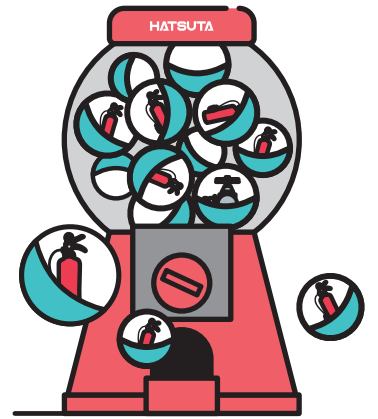
06

消火器の消火奏効率は驚きの高率！

消火器の消火奏効率は73.7%（2023年東京消防庁データ）。正しい使い方を知れば、高い確率で初期消火が可能です。

ハツタのポイント

初田製作所の消火器は信頼性が高く、日常的なトレーニングや正しい使用方法の啓発活動も行っています。



07

火災は14分に1件発生している！

2023年の日本における総出火件数は38,672件。1日あたり約106件、約14分に1件の火災が発生しています。

ハツタのポイント

初田製作所は「人命・財産・文化を火災から守る」という理念のもと、常に火災予防と対策に努め、社会の安全を提供しています。

【ミライのハツタ】

THE FUTURE OF HATSUTA

初田製作所は、スローガン「TRY FOR INNOVATION」を実践し、全く新しい技術や考え方を取り入れて、新しい製品、サービスを提供し、より良い社会の実現に貢献していくための努力を続けていきます。



ミライのハツタで活躍する

あなたの 3の特徴

1 誠実に自己研鑽を 続けられる人

技術や知識は一朝一夕で身につくものではありません。コツコツと誠実に努力を重ねる姿勢が、自分の成長はもちろん、より良い製品・サービスの提供へとつながっていきます。

2 革新的な技術開発を 探求する好奇心がある人

現状に満足せず、常に「もっと良くできないか」と考えることが、新たな技術や価値を生み出す原動力になります。変化を恐れず、前向きに挑戦し続ける姿勢が求められます。

3 チームワークを 大切にできる人

仕事は一人で完結できるものではありませんし、一人で抱え込む必要もありません。周りと協力し合い、報告や相談を常にすることが、お客さまに満足いただくことにも繋がります。

防災のプロとして

社会に貢献したい

長谷川 夏帆

KAHO HASEGAWA

ファイアープリベンションシステム事業部

東京支店

2021年入社

ハツタ
トリセツ

【ハツタ社員のトリセツ】

INTERVIEW

災害の教訓から防災の最前線へ

高校時代に地元で経験した土砂災害をきっかけに、災害の身近さを実感し、防災に興味を持ちました。大学では防災を様々な角度から学び、その知識を活かして社会貢献できる職場を探していました。初田製作所を選んだ理由は、総合防災メーカーとして防災から派生した防火や消防分野での仕事ができる点です。また、「安全」をキーワードに多岐にわたる事業分野や世界各地とつながり、学べる可能性に大きな魅力を感じました。

インターンシップでの消火器再充填体験は、メーカーならではの印象深い経験となりました。さらに、採用担当の方の丁寧な対応により、納得して会社選びができたことも決め手となりました。

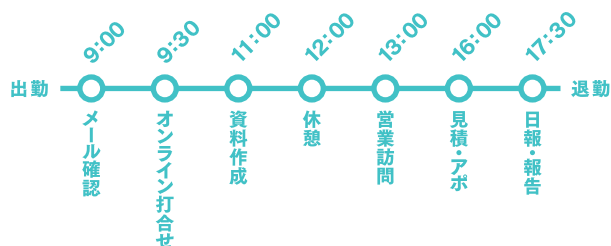


無限の可能性にやりがいを感じて

私の役割は、産業装置を火災から守る消火装置の販売営業です。単なる消火器販売ではなく、お客様の「火災から守りたい」という願いを幅広く実現するため、多様な提案を行っています。

様々な業界や職種の方々と関わり、それぞれの現場の安全対策に貢献できることや、機械メーカーから商社、ユーザーまで幅広いお客様と接する中で、異なる業界の動向や繋がりを学べるのが仕事のやりがいに繋がっています。また、火災リスクがあればどんなものでも対象になるため、発想次第で無限の可能性が広がります。お客様の安全を守りながら、自身も成長できる、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

業務の流れ



【 HTCサービス開発秘話 】

消防法に捉われないHATSUTAの試み

PROJECT STORY

プロジェクト初期メンバー

上原 政也

MASAYA UEHARA

メンテナンス事業部

東京支店

2010年入社



認定診断員

野村 彰

AKIRA NOMURA

メンテナンス事業部

名古屋支店

2013年入社



総合防災メーカーだからこそ 提供できるコト売りの事業

上原 我々が開発を行っているHTCサービス「火災発生リスク簡易無料診断サービス」では、火災リスクの高い工場を対象に、現地診断、レポート作成、安全対策提案の3つのサービスを提供しています。これは単なる商品販売ではなく、まさに「コト売り」の事業です。サービスの内容は法定部分の適正管理確認と法定外部分のリスク確認の大きく2種類に分けられます。

野村 工場内部の状況は法律で明確に定められていないため、取り扱う物質によってリスクが変わります。我々の120年以上の経験を活かし、お客様固有のリスクに対応します。HTCサービスでは、潜在的な火災リスクを「見える化」し、報告会でリスク低減やBCP対策強化を提案しています。これもコト売りの一環ですね。

プロジェクトに取り組むことになったきっかけ

上原 HTCサービスは2013年に構想が始まり、防災設備業界での差別



化を目指して開発されました。損害保険会社と提携し、火災リスク低減と保険最適化を組み合わせた無料診断サービスとして2014年にリリースしました。5名の精鋭チームで営業と技術の両面から取り組み、新市場開拓を目指しました。

野村 日々の点検や工事で、お客様から特定工程の火災リスクについて相談を受けることが多く、法的義務はなくても従業員の安全のために対策が必要だという意識が高まっていました。HTCサービスは、こうしたニーズに応える提案型サービスとして発展していきました。

大手企業の診断をきっかけに ターゲティングを大きく変える

上原 HTCサービスの展開初期は、予想外の困難に直面しましたね。リリース当初は全国の工業団地を飛び込み営業で回っていました。無料なら簡単に受け入れてもらえると思っていましたが、現実は厳しかったです。自社の弱点を指摘される診断は、無料であってもお客様にとっては歓迎されるものではありませんでした。4年ほど苦戦しましたが、5年目に転機が訪れました。ある上場企業の大手機械メーカーの診断がきっかけでした。

野村 その上場企業の製造メーカーの診断でヒントを得て、お客様が本当に望んでいることを聞き出すことの重要性に気づいたんですね。

上原 大手企業の方が安全を最優先する傾向に気づき、ターゲットを大手企業に変更し、営業面や技術面をアップデートしていきました。そして大手企業向けに営業トークや提案資料、診断ノウハウを最適化することで6年目には、年間250件以上の診断を実施できるようになりました。

野村 そして初田製作所全体でブラッシュアップを重ね、1,000件以上の実績につながりました。この経験から、HTCサービスは安全を重視する大手企業に最も効果的だとわかり、新たな成長の道筋が見えてきましたね。逆境をバネに、HTCサービスは大きく飛躍したと言えるでしょう。



プロジェクト達成により湧き上がる喜び

上原 HTCサービスで顧客との信頼関係が深まり、社外アドバイザーとして



認められる機会も増えてやりがいを感じています。実績も2024年1月で1,540件に伸び、大手企業との取引も増えました。

野村 「信頼のできる企業にお願いしたい」という言葉を頂けるようになり、とても励みになっています。全国規模の案件も受注でき、会社の成長に貢献できています。お客様の潜在ニーズを掘り起こし、具体的な解決策を提案できるようになったのが大きな成果ですね。

上原 苦労して作り上げたサービスが認められて嬉しいです。

野村 そうですね。これからも期待に応え、技術革新にも対応し続けていきたいと思います。

防災のトップランナーとして走り続けたい

野村 HTCサービスは、他社にはない独自性があり、無償実施と具体的な対策提案が特徴です。技術革新に伴う火災リスクの複雑化に対応し、未診断の工場も多いため成長余地は大きいです。初田製作所は企業理念実現に向け、より安全な社会を目指して挑戦し続けます。

上原 AIやIoTの技術革新が進む一方で、精密製品の増加に伴い火災リスクは消失しません。HTCサービスは火災被害撲滅の具体的な手段である為、今後も火災対策ノウハウを研究し、防災業界のトップランナーとして走り続ける所存です。



取り組み事例

10年間で1500件以上の診断実績があり、多くのお客様に導入いただいています。

日東電工株式会社

【実施対象】合計10拠点／国内：6拠点、海外グループ会社：4拠点

SBSホールディングス株式会社

【実施対象】国内グループ会社：30拠点

カヤバ株式会社

【実施対象】合計13拠点／国内：8拠点、グループ会社：5拠点

株式会社クボタ

【実施対象】主要サプライヤー向け12社17拠点

ラピスセミコンダクタ株式会社

【実施対象】合計2工場

株式会社デンソー岩手

【実施対象】合計3工場(同社事業所内：主要工場)

タカラスタンダード株式会社

【実施対象】合計8拠点／国内：7拠点、グループ会社：1拠点

株式会社プリテストーン

【実施対象】合計34拠点／国内：4拠点、グループ会社：国内27拠点+海外(中国・タイ)3拠点

ナブテスコ株式会社

【実施対象】合計18工場／国内：6工場、グループ会社：国内3工場+海外(中国・タイ)9工場

株式会社明電舎 沼津事業所

【実施対象】合計18工場(沼津事業所内)

ホクト株式会社

【実施対象】合計32拠点(きのこセンター・研究所)

数字と声でひもとく、ハツタ

社員の声、数字で見える実態、初田製作所

ハツタを見える化

「数字で見えるハツタ」

男女比



全体の約3割が女性で、性別に関わらず力を発揮できる環境が整っています。現場でもオフィスでも、互いに支え合いながら働ける職場です。

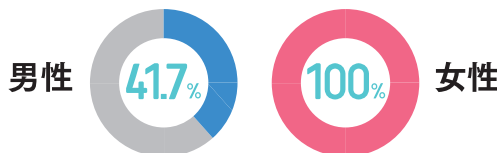
年間休日



所定外労働時間

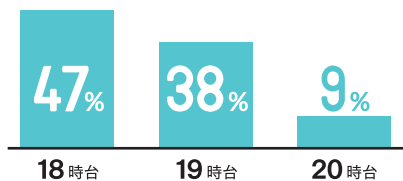


育児休業取得率 2024年度



27歳以下の 従業員に聞きました。

Q. 帰宅は何時?



Q. 帰宅後は何をする?



ハツタでソダツ

初田製作所では、入社時から段階的にスキルを高め、将来的にはリーダーとして活躍できるよう、充実した研修制度と学びの機会を整えています。
学び、気づき、挑戦し続ける —
その姿勢を、会社全体で応援しています。

新入社員入社時研修

- ビジネスマナー研修
- 工場研修
- ロジカルシンキング研修
- 事業部別 新人育成研修

ならではのワーク&ライフ

ならではの“リアルな働き方”をお伝えします。

若手社員の声

「ハツタに決めた理由」



FPS事業部 生産管理課
2024年入社

防災の現場で、モノづくりの真価を発揮。

総合防災メーカーとして多様な設備づくりに携わりたいと思い、入社しました。現在は工作機械用の自動消火設備の生産管理に従事し、計画から在庫管理まで工場全体の流れを支える日々に取り組んでいます。まだ分からないことも多いですが、先輩に支えられながら成長中です。



防災事業部 品質管理
2022年入社

絶対に作動する防災機器を届けるために。

学生時代からモノづくりに興味を持っていたため、万が一の際に確実に作動する防災機器に関心がありました。現在は消火器などの品質管理を担当し、100%の信頼をお届けできるよう、一つひとつにこだわりをもって業務に取り組んでいます。



FPS事業部 営業課
2021年入社

インターンで感じた優しい社風に惹かれて。

社会貢献の実感を持てる仕事に就きたいと思い、防災を通じて多くの命を守る初田製作所を選びました。インターン時に感じた社員の温かさや穏やかな雰囲気が決め手で、今もその環境の中で成長を実感しています。防火・消防の分野で専門知識を学びながら、目標達成を目指しています。



消火栓事業部 営業課
2024年入社

温かい社内の雰囲気が、決断の決め手。

社内イベントへの参加を通じ、部署や役職に関わらず社員同士が親密に交流する様子に惹かれて入社を決めました。他の会社と迷いましたが、温かい雰囲気に惹かれた選択に間違いはありませんでした。日々成長しながら、頼りになる先輩方と働ける環境に満足しています。



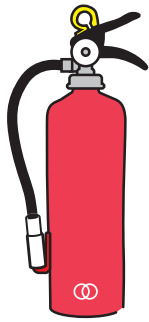
FPS事業部 品質管理課
2021年入社

火災を未然に防ぐ使命に共鳴して。

人の役に立つ仕事をしたいと考え、消防士を志していましたが、「火災が起こる前に命を守る」という防災機器の理念に感銘を受け、初田製作所を選びました。現在は品質管理を担当し、製品の安全性を確保する重要な役割を担っています。

そのほか研修

- SPS研修
- 資格取得支援制度
- 面接官研修
- 消防設備士受検対策講座
- 考課者研修
- eラーニング
- 事業構想大学院大学
ビジネスリーダーコース
- 管理職研修
- ロジカルシンキング研修



HATSUTA

www.hatsuta.co.jp

会社概要

社名
株式会社 初田製作所

代表者名
代表取締役社長 初田和弘

創立
明治35年(1902年)12月1日

会社設立
昭和22年(1947年)8月19日

資本金
8千万円

従業員
826名(2025年4月1日現在)

事業内容
各種消火器、消防設備、自動消火システム、ピット消火システム(YPS)、消火栓、消防用ホース、防災商品の製造・販売、施工、メンテナンス、損害保険代理店業

大阪本社
〒573-1132
大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
Tel. 072-856-1281(代)

東京本社
〒105-0012
東京都港区芝大門1丁目5番10号
Tel. 03-6432-4144
